

現認 証明書
事實

本籍地
[Redacted]
[Redacted]

官氏名 陸軍 死亡前 兵長

年 月 日生

一 役種、兵種、年次
現役 兵長 陸軍 第... 師 第... 旅 第... 隊 第...
二 死亡年月日時
昭和二十...年...月...日

月 日

死亡番号
年月日記
[Redacted]

一 死亡理由
[Redacted]
二 死亡場所
[Redacted]

一 遺族の現住所
[Redacted]
二 遺族の姓名
[Redacted]

石 相 遺 照 キ コ ト 証 明 ス

現認者
[Redacted]

本籍地
[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

86-10

七〇八八...

現認證明書

一 本籍地

成四ノ九四部隊

官氏名 陸軍 死亡前 死亡後

軍曹

年 月 日生

一 役種 兵種 徵集年 現役 主計兵 昭和十年

一 死亡年月日 昭和十年二月一日

一 同 場所 所ルン島バタンガ洲

一 同 原因 分 戦 死

一 戦死事由 又 戦死 頸部迫撃砲弾破片 創

一 遺骨 有 無

一 遺族 居住所 集 村 支 隊 名

右相違 無キコトヲ 證明ス

昭和十年八月

日 長 官

本籍地

成四ノ九四部隊

衛生上等兵

死亡者 姓名									
年 月 日 生									
死 因									
備 考									

157-10

階級
15.12.1
16.12.1
17.2.22

款
15.12.1上

- 一、本籍地現 認申述書 (高)
- 二、氏名 伊藤 伊長
- 三、所属部隊 独立混成二之聯隊威三九三之部隊 大隊 機銃中隊 令隊
- 四、戦死の場所 戦死
- 五、戦死の場所 比島 ウニニガニ
- 六、戦死年月日 昭和三十年二月一日午前十時頃
- 七、遺留品有無 なし
- 八、戦死に至る経緯 昭和十九年七月滿洲へ、八には混成二之聯隊威三九三之部隊編成

170-11 / 15.12.1上

今年七月下旬自滿洲を去来して九月十日比島の北赤サニ
ランドに上陸 伊藤 伊長 機銃中隊長

左年十二月下旬マニラ經由昭和三十年一月二十七日ウニニガニ
市に到着大隊長 大尉(高野正身)以下撃兵
団に配之北夜九時三十分攻陣地密着城明け二十八戦斗南
始三百米の短巨砲に斬必し連日横行犠牲者は毎
日倍加し昭和三十年二月一日午前十時頃令隊長 伊藤 伊長は
小生と巨砲三十米の地点に於て名譽の戦死を遂げらる
右の通り相違なき事と現認申述す

昭和三十年二月 日

[Redacted signature]

(特別)

<p>姓名 [Redacted]</p>	<p>別名 [Redacted]</p>	<p>階級 [Redacted]</p>	<p>死に月日 [Redacted]</p>	<p>死に場所 [Redacted]</p>	<p>本姓 [Redacted]</p>	<p>年齢 [Redacted]</p>	<p>死に原因 [Redacted]</p>
<p>所属部隊 第39大隊</p>	<p>備考 [Redacted]</p>	<p>死に場所 [Redacted]</p>	<p>死に月日 昭和二十一年三月一日</p>	<p>死に場所 [Redacted]</p>	<p>本姓 [Redacted]</p>	<p>年齢 [Redacted]</p>	<p>死に原因 [Redacted]</p>

昭和二十一年六月六日

昭和二十一年六月六日

隊長

隊長

義江

主任

(詳別)

戦死者確認記録簿

昭和 年 月 日

固有部隊名

独立三五九大隊

通稱

勤一〇六七二

死亡前階級

上等兵

死亡後階級

徴集年

徴集

兵種

年 月 日生

本拠地

[Redacted]

留守階級

大尉

妻

[Redacted]

姓

大月

妻

[Redacted]

死亡日域分

右の首昭和二年

年 月 / 日

時 分 於カバナツアノに於て

場所事由

敵陣

に依り死せしことを確認す

1. 遺骨

3. 證據書類

2. 遺留品

4. 其の他

現認

取寄

通知

現住所

[Redacted]

所属部隊

独立三五九大隊

備考

署名に於ける印

隊長

[Redacted]

26-10

106

(課別)

課長	系長	主任	死亡月日 死亡場所 死亡原因	本籍地 留守地 留守職名	徴集年 服役一 兵種	死亡前階級 昭一四 死亡後階級 歩	固有部隊名 独立歩兵四五九大隊 勤一〇、六七二部隊	戦歿者確認證 昭和廿五年六月廿七日
訓練所 現任所	製造所 所屬部隊 陸軍曹長	備考 係に於ける 署名印	右の者昭和廿五年二月一日十一時三十分頃カミナリアンに於て敵陣に戦死せしことを確認す	本籍に同じ 本籍に同じ	昭一四 服役一 兵種	昭一四 死亡後階級 歩	独立歩兵四五九大隊 勤一〇、六七二部隊	戦歿者確認證 昭和廿五年六月廿七日

1. 遺骨 ナシ
2. 遺留品 ナシ

3. 接書類 ナシ
4. 其の他

確認

通知

12-10

現認證明書

本籍地	[Redacted]	
所屬部隊	獨歩三五九大隊(威一〇六七二部隊)第一中隊	
官等級氏名	陸軍衛生兵長 [Redacted]	
發病場所	ルソン島 カバナツア	
受傷年月日	昭和二十年二月一日	
病傷名	[Redacted]	
死亡場所	ルソン島 カバナツア	
死亡區分	戰死(頸部貫通銃創)	
死亡年月日	昭和二十年二月一日午後三時	
摘要	[Redacted]	

右現認シタルコトヲ証明ス
 昭和二十年十一月十三日 現認者

現住所 [Redacted]
 階級氏名 陸軍衛生兵長 [Redacted]

職

係長

主任

(課別)

昭和廿二年六月廿七日

勤一〇六七二部隊

固有部隊名 独立歩兵三五九大隊

通稱

勤一〇六七二部隊

死亡階級

伍長 死亡後清敵

氏名

役集年

昭一三

役階一平

兵種一歩兵

年 月 日生

本籍地

留守階級

令

姓

妻

死亡日

右の首昭相廿年二月一日 時 分カバナツア ン に於て 敵 弾 に依り戦死 せしことを確認す

遺骨

遺骨 ナシ

遺留品

遺留品 ナシ

通知

現住所

所属部隊

独立歩兵三五九大隊

備考

遺骨に於ける印

遺骨に於ける印

第...
第...
第...

現認者		死亡者			者	
現住所	所属隊	死場所	区分	日時	役種	本籍地
昭和五年十月三日	独立自動車隊六〇〇中隊	中野川上カバヤシ附近 二於テ戦中戦死	戦死	昭和五年二月一日	後予 天糧 階少尉	尚武六〇〇九部隊
		遺骨 戻泥	傷病 名	昭和 年 月 日	姓名 [Redacted]	

現認證明書

10

死亡事實(現認)證明書

本籍地

現住所

所屬部隊 威四七三部隊

徵集年形 七

氏名 官等級 陸軍伍長

右ノ者昭和三十年二月二日四時

分島ニ於テ

ニ依リ戰傷

齏死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和三十年十二月二十日

所屬部隊

職名 行奉

官等級 陸軍上等兵

氏名

- 注意
- 一、死亡地獄、受傷部位、病名等判明シアルモノハ詳記ス
 - 一、職名ハ中、小隊長、砲手、裝弾手等ト詳記ス

64-11

坂口 新

状況不明者の資料届

本籍地

大尉

所属部隊 固有名 戦車第三師團整備隊第二中隊

通称名 威一三〇六部隊

「サレホセ」周邊の戦闘に於て「サレホセ」西方約三〇キロの地裏にて
迫撃砲弾の為左胸部に貫通銃創により戦死(廿一年三月)

威一三〇六

陸軍少尉



戦死確認証明書

一 官氏名

陸軍准尉

二 年月日

昭和二十五年二月三日 早朝

三 場所

比島ルン島ルバチ街

四 状況

將校下候長トシテ偵察中 敵自初の銃聲
致死ヲ受テ即死ス

五 留身担当者

妻

右之通り確認スルニ付届出ス

昭和三十二年九月二十日

先戦車第二師団整備隊附
元陸軍技術少佐



81-12

死亡證明書

所屬部隊マニラ陸軍航空隊才大獨立整備隊

官 等陸軍曹長

氏 名 [Redacted]

本籍地 [Redacted]

留學担當者住所 [Redacted]

死亡年月日 昭和二十年二月四日

死亡場所 マニラ東方約十五キロ

死亡区分 戦死

死因事(由) 自動飛行機墜り本隊進求中マニラ東方約十五キロ、
同(經過) 地美、於敵機甲部隊下遭遇、敵機に戦斗、
(具体的詳細に) 折柄、敵機甲車一部下、其に突入、敵車上、
吐腹、戦死、遂に

8-11

右證明致し了

昭和十一年三月二十日

證明者

本籍地

所有軍隊より陸軍航空隊才天独立整備隊

官 子陸軍之勤

氏 名

印

8-12

243

舞

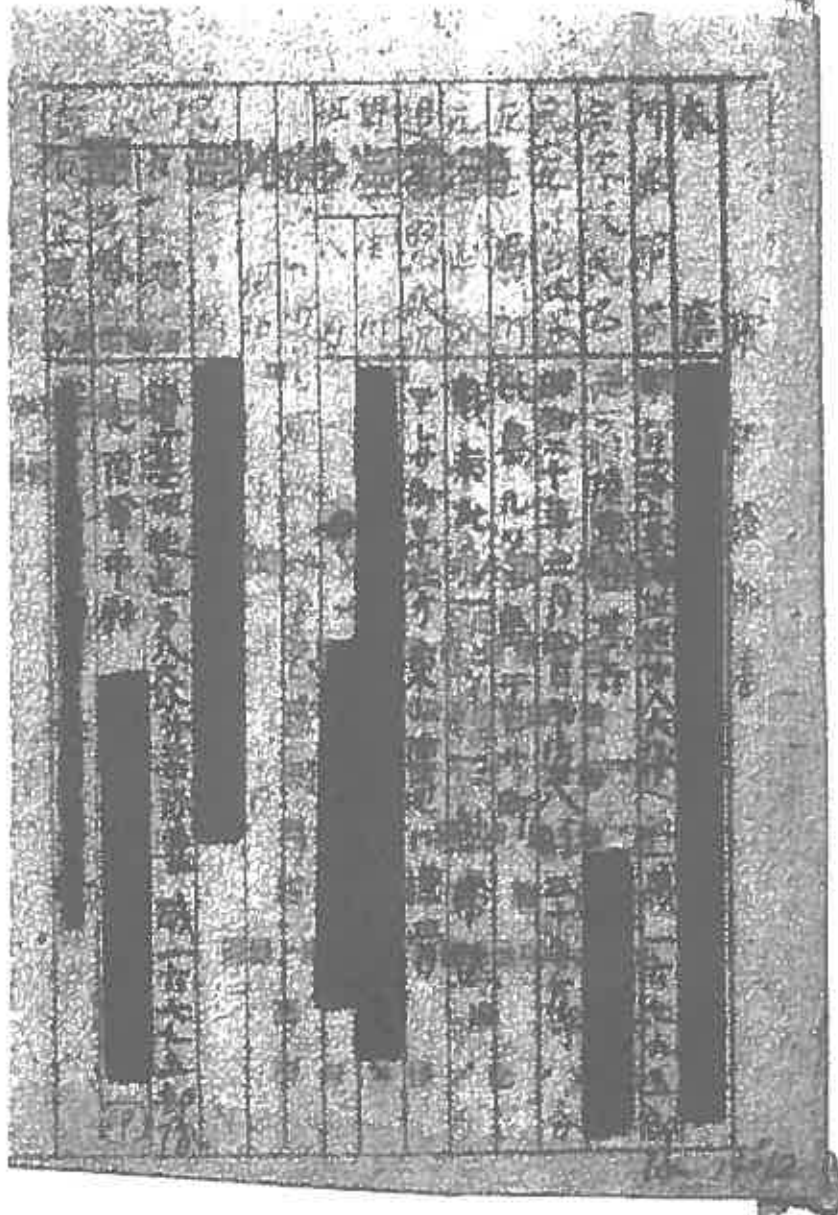


死に前後の舞

花江

舞

舞



死亡確報申請書

昭和二十一年一月一日

日

所属部隊 通橋隊	死亡年月日 昭和二十一年一月一日	死亡場所 比島	遺族本籍地及現住所 氏名	遺骨の有無 有無
(例) 皇軍第一師團 中支隊第一中隊	死亡原因 ルソン島ガ 戦死	職務 上等兵長	本籍地 青森市大町七丁目五 番地 橋本三 木村妙子	遺骨の有無 有無
成二七六部隊	戦死 比島中隊 戦死	職務 上等兵	本籍地 青森市大町七丁目五 番地 橋本三 木村妙子	遺骨の有無 有無
昭和十九年七月 三月一日午前十時 比島野戦病院 昭和二十年五月一日 昭和十九年九月七日 昭和二十年二月四日	戦死 比島中隊 戦死	職務 上等兵	本籍地 青森市大町七丁目五 番地 橋本三 木村妙子	遺骨の有無 有無

敵機襲撃により上半身を撃たれ、戦死。遺骨は発見されず。

現住所 青森市大町七丁目五番地 橋本三木村妙子

○P欄に記載された高確報資料欄に示す詳細記入を下さい。病死者の発病年月日、病名、入院場所、明瞭記載して下さい。

墓

墓

死に事所

昭和二十六年六月

死に事所

昭和二十六年六月

死に事所

昭和二十六年六月

死に事所

昭和二十六年六月

死に事所

昭和二十六年六月

死に事所

昭和二十六年六月

死に事所

昭和二十六年六月

死に事所

昭和二十六年六月

死に事所

昭和二十六年六月

死に事所

昭和二十六年六月

胸部貫通銃創

兵

戦

元

昭和二十六年六月

昭和二十六年六月

一等兵

兵長

現役

兵

昭和二十六年六月

元所駐所
和住所
元住所
氏名印
陸軍准尉

昭和二十六年六月

昭和二十六年六月

死 亡 通 告 書

本 籍 地				[REDACTED]			
所 屬 部 隊 固 有 名				比 島 第 六 機 道 輸 送 隊 通 告 比 島 水 道 隊			
最 終 年 令	性 別	兵 種	死 亡 職 官 階 級	氏 名			
(任 官 年)			(回 數 年 月 日)	(生 年 月 日)			
		野 砲 兵	陸 軍 一 等 兵	[REDACTED]			
所 在 所		[REDACTED]					
遺 體 所 在 地		[REDACTED]					
死 亡 日 期	死 亡 時 刻	死 亡 場 所	死 亡 原 因	死 亡 場 所			
昭和 〇 年 〇 月 〇 日	〇 時 〇 分	比 島 水 道 隊	我 死	比 島 水 道 隊			
死 亡 原 因	死 亡 場 所	死 亡 原 因	死 亡 場 所	死 亡 場 所			
砲 撃 死	野 砲 兵 隊	砲 撃 死	野 砲 兵 隊	野 砲 兵 隊			
死 亡 機 關	死 亡 機 關	死 亡 機 關	死 亡 機 關	死 亡 機 關			
死 亡 機 關	死 亡 機 關	死 亡 機 關	死 亡 機 關	死 亡 機 關			

38-11

右の通り報連なきことを証明する。

昭和 〇 年 〇 月 〇 日

遺 體 所 在 地 [REDACTED]

(現 任 所) 石 川 〇

元 所 屬 部 隊 比 島 第 六 機 道 輸 送 隊

贈 被 氏 名 印 陸 軍 一 等 兵 [REDACTED]